BIREL N35 Champion of Champions in APG in Japan 2026
日本一決定戦

特別規則書

第1章　総則

1．大会名称　　BIREL N35 Champion of Champions in APG in Japan

2．開催日程　　2026年　12月　12日（土）・13日（日）

3．開催場所　　オートパラダイス御殿場

4．主催　　㈲ビレルパシフィック
　運営　　レーシングラボ・アステック

5．開催クラス　　N35・ヤマハMZ200　レンタル車両／34台 プッシュアウト方式

6．大会内容
　最大68チームによる公式練習・予選・決勝チャレンジクラス、エンジョイクラス2クラス制

7．チーム構成
　1チーム2名から5名で16歳以上で健康な方。JAF・SLライセンス所有者、又は各施設で認定されたドライバー。

8．参加料金　　1チーム￥88,000　※保険料1人￥1,000

9．参加受付
　本参加受付　　1次受付　期間　2026年　10月 13日（火）～ 11月 9日（月）
　台数により2次受付実施予定
　各指定施設より受付。
　各施設最大3チーム、最終定員により調整。
　参加定員68チーム。定員以上の参加申込の場合、主催者と施設にて協議。

第2章　大会方式

1．スターティンググリッドの決定
●公式練習60分：Aグループ34台・Bグループ34台
●予選ヒート：各チーム2-3人の代表による1時間耐久レース。車両と出走順は受付時に抽選とする。
　予選ヒート各グループ上位半分をチャレンジクラス、以下をエンジョイクラス。
●決勝ヒート：3時間耐久レース。出走順は予選ヒートの結果順。最初に乗る車両はグリッドNoと同じ車両
●決勝結果：クラスごとの順位

2．ドライバーの交代
●ドライバーの平均体重により、ドライバー交代の回数を義務づける。但し女性ドライバーは計測せず一律 **62kg** で計算する。
●体重測定は受付時または日曜日朝に行う。走行時のレーシングスーツ、シューズを着用。
　ヘルメット、プロテクター、グローブは不要。ウエイトと認識出来るものは着用出来ない

予選ヒート

平均体重	ピット回数
65以上	2回
65未満	2回+ドライブスルー

単位Kg

決勝ヒート

平均体重	ピット回数
72以上	4回
67以上～72未満	5回
63以上～67未満	5回+ドライブスルー
60以上～63未満	6回
60未満	7回

単位Kg

●ドライバーの交代は指定されたエリアで行わなければならない。
●ドライバー交代エリア内での交代は3台までとする。
●ピットストップ時間は30秒とし、走行終了したドライバーがポンダーとゼッケンの付け替えをし、サインをする
各自で用意したポンダーケース（腕に装着出来る物に限る）の使用を認める。
次乗るドライバーは、待機車輌にポンダーとゼッケンの付け替えが終了した事を確認してから乗車
ゼッケンの付け替えのみ、どちらのドライバーも可能とする
●ピットが混雑している場合、ピットスルーは認められる。
●ドライバー交代エリアへは走行したドライバー、次に乗車するドライバー以外は入ることが出来ない。
●各ヒート終了3分前にピットクローズされるものとする

3．走行義務時間
各ヒート走行する全てのドライバーが予選15分以上決勝30分以上走行しなければならない
決勝の連続走行時間は60分までとする。予選の上限はなしとする
但し、体調不良その他アクシデント等で主催者が認めた場合は省く。

4．車両の入れ替え
公式練習含むすべてのヒートにおいてドライバー交代の際に車両の入れ替えを行う
4-1 車両について
車両にタイムカウンター、車載カメラ等の取付等一切の取付は禁止する。

5．無線
無線機（トランシーバー）を除く通信手段（Bluetoothなどを利用したインカムなど）の利用は可。
脱落の恐れが無い状態で保持し、主催者より注意を受けた場合には直ちに指示に従う。

6．ピットロードの走行
ピットロードの走行は徐行とし追い越しは禁止される。ピットロードに配置されるパイロン等に接触した場合
又はシケイン不通過の場合でのペナルティーが課せられる。
徐行とは車両がすぐに停止できる速度の事で、主催者が判断する。

7．走行中の危険行為
走行中のプッシング、ブロッキング等の危険行為は主催者の判断で危険行為とし、ペナルティーの対象。
となる。

8．走行中のマシントラブル
●接触やコースアウト、不遇なトラブルでカートが破損した場合は、コース上においては選任にスタッフに
より撤収作業とし、修復或いはスペアーカートに変更することができる。
●参加者側の走行ミスによる車両破損は、原則として主催者側にて修理を行う。多重クラッシュによる修復は
主催者側の判断で行う。
●参加者側での改造を含め、作業は一切認められない。
●予選ヒートに限り車輌トラブルの際の救済を行う（決勝は行わない）
対象は車輌トラブルによりコース上でストップした場合（ピットに戻れた場合は対象外）
ストップしてから再スタートした時のラップタイムより1分引いたタイムに対して1分あたり1周追加
例）対象タイムが3分50秒だった場合、1分引いた2分50秒で50秒は切り捨て、最終リザルトに2周追加

9．ニュートラリゼーション及びフルコースコーション
●トラブル発生時にコントロール室の決定によりニュートラリゼーションが導入される。直ちにポストは黄旗と
メインポストはボードを掲示しトラブルの回収を行う。
●ニュートラリゼーション及びフルコースコーションの際、ピットインは不可能とし、ピットはクローズドされる。
その際チームごとにとピット回数の支障が生じても、抗議は受け付けられない。

10．ペナルティー
故意に行う悪質な行為や、規則に反する事を行った場合はペナルティーが課される。またそれに対し
一切の抗議は認められない。

●ペナルティー対象

①・警告
ピットロードの徐行違反（主催者判断）
プッシング及びブロッキング（主催者判断）
その他主催者が危険と判断した場合。
②・ドライブスルーペナルティー
フラッグサインの無視
ピットロードシケイン及びコース上のパイロンタッチ
複数回のピットロード徐行違反（主催者判断）
プッシング及びブロッキング（主催者判断）
その他主催者が危険と判断した場合。
③・失格
危険行為
フラッグサインの無視
車両セッティング変更
飲酒運転
その他主催者が危険と判断した場合。
④・周回数減算
チェッカー後、連続走行義務違反等の違反が発覚した場合、その頻度により周回数から減算される
2回以上のドライブスルーペナルティを受けた場合、1回につき最終リザルトより1周減算

ペナルティーの表示方法

ペナルティーの対象となった場合、コース上のメインポストより黒旗とゼッケンNoが提示される。
その車両は速やかにドライブスルーペナルティを消化する
その際はドライバー交代はできない。

第3章 イベントの終了と章典

1．イベントの中止
特別な事情が生じた場合、主催者の判断によりイベントを中止することができる。

2．順位及び完走の認定
●チェッカーが振られた時点で完了される周回数とタイムを元に順位が認定される。
●チェッカーの際にピットエリアにいた車両はピットロード上のコントロールラインを通過することで、チェッカーを受けたとして扱われる。
●周回数に限定せず、完走扱いとする。

3．章典
●各クラス1位から6位まで正賞+副賞
●ベストエレガンスチーム賞：美しいチームウェアー、レーシングスーツの統一感のある1チーム。
●遠距離賞　2チーム

4．抗議
参加者はオフィシャルの判定及びイベント運営に対する抗議を一切行うことができない。

5．車両損害
車両トラブル以外、如何なる状況において車両の損害があった場合、その車両を使用したチームに主催者は部品代を請求することができる。

第4章 ドライバー装備

1.レーシングスーツを義務づけとする。
ドライビングに支障のない靴と、滑り止めの付いた手袋、バイザーの付いたヘルメットを着用すること。
リブプロテクターの使用を義務づけとする。

第5章　広告に関する事項

車両のカウルにステッカーを貼る事ができない。

＊本規則は安全等の理由から変更する場合があります